

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成14年度～		根拠法令・例規等		都市再生特別措置法律		
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり		問	担当課(室)	都市整備課		
	中項目	基本施策	04	生活しやすいまちづくり			合	職・氏名	都市建築係長 藤原雅弘	
	小項目	施策	01	都市交通施設			先	電話	0869-64-1834	
事務事業名		01		都市交通施設事業		このシート作成に要した時間		1.5 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	都市交通施設を利用する人		
目的(何のために)	安全で快適な都市活動と活力ある健全なまちづくりを促進するため、街路の速やかな整備、充実を積極的に推進するため		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	協働のまちづくりを基本として市民によるまちづくりを推進する		

事業の実績				Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度	
	都市交通施設総括事務	街路の一体的な計画、整備を推進するための総括事務			

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額	事業費	千円	849	845	0
	必要人員	人	0.15人	0.12人	0.00人
	事業費	千円	2,313	2,121	0
財源	国	千円			
	県				
	支				
	出				
一般財源	受益者負担				
	金				
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	まちづくり協議会の年間開催回数	回	4	1	1
	対前年比	%	-	25.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,313,000	2,121,000	0
	単位当たりコスト		578,250	2,121,000	0

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	目標値(A)		3	1	1	-
	実績値(B)		4	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)		133.33%	100.00%	100.00%	-
成果指標設定の考え方・式や説明						
まちづくり協議会開催回数/年4回						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い				B
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業についてはHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
市民参画度					B	

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	20年度から道路事業を実施しており、道づくりをまちづくりの基本として市民によるまちづくり協議会の運営を行ってきたが、23年度で事業が終了。					

総合評価		総合評価	B
道づくりをまちづくりの基本として、安全で快適な都市活動を推進するため、積極的に推進する必要がある。		ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	B

平成25年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその留意目標を評価する